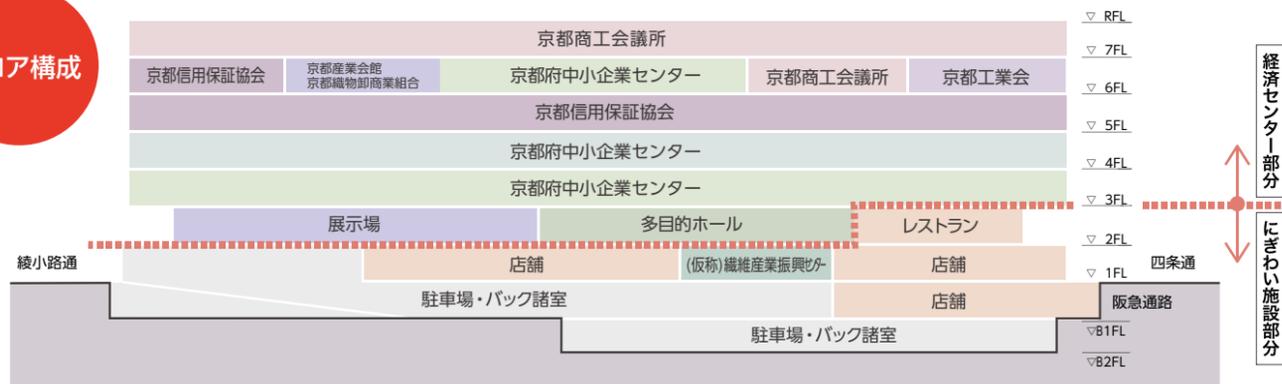


経済センターの8つの機能



- 1 交流と協働の促進**
 業種を超えた経済人が集い、交流し、情報交換ができるサロンを設置し、新たなネットワークの創出を通じた価値創造を目指す。
- 2 戦略的産業振興施策の推進と情報発信**
 次代の京都産業を担う中小企業を育成・支援する施策の推進と、伝統産業からハイテクにいたる多様な京都産業の最新情報を総合的に発信する。
- 3 中小企業の育成支援**
 京都ならではの知恵産業・知恵ビジネスの育成を目指すとともに、金融支援・技術支援との連携など産業支援機関が一体となって成長支援、創業支援、下支え支援を幅広く展開する。
- 4 産学公連携の推進**
 中小企業と大学、研究開発機関等との技術の橋渡しを推進し、京都発の新たな産業の創出を図る。
- 5 スマートシティ・スマートコミュニティ(地域創生)の実現**
 環境・エネルギー・交通システム・健康・教育など裾野の広い産業分野の進捗を推進し、より質の高い暮らしができる都市・地域社会の実現を目指す。
- 6 海外への販路開拓と海外からの投資促進**
 JETRO京都事務所を誘致すると共に、世界各都市の最新ニーズを踏まえ、京都企業の海外販路開拓支援、外国企業の京都への投資促進、京都ブランドの海外発信等を戦略的に展開するワンストップ拠点を創設する。
- 7 繊維産業の振興**
 和装文化を核にした京都ブランドの発信拠点として繊維産業振興センター(仮称)を設置。伝統産業の新しい方向性を探る場、京都ファッション界の情報発信基地等として、京都の文化・伝統産業の振興を図る。
- 8 産業人材育成支援**
 経営力と技術力を兼ね備えた人材の育成や、京都独自の持続的経営モデルの実践など、次代の京都産業を担う産業人材を総合的に養成する機能を整備する。

フロア構成



中小企業の総合支援拠点へ

京都経済センター(仮称)の全容を発表!

京都経済百年の計として、経済界と行政が一体となり進めてきた京都経済センター(仮称)の概要が、7月13日に関係団体・事業者全10者のトップによって発表されました。京都の主な経済団体等が一堂に集結することにより、さまざまな知恵が融合して新たな価値を生み出す「交流と融合」の場を提供でき、支援機能が集積することで中小企業が抱える課題にオール京都体制での対応が可能となります。人々が集い、交流し、四条室町エリアの一層の魅力向上と活性化を図る施設として、大きな期待が寄せられています。平成31年の竣工に向けて大きな一歩を踏み出しました。



概要

1. 建設地 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番、京都市下京区室町通綾小路上の鉾鉾町473番 他
2. 敷地面積 4,421.85㎡
3. 構造規模 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階、地下2階建て
4. 延床面積 29,214㎡
5. 事業契約者 京都府、京都市、京都商工会議所、公益社団法人京都工業会、一般社団法人京都産業会館、京都織物卸商業組合、一般財団法人京都府中小企業センター、京都信用保証協会大成建設株式会社
6. 設計監理 大成建設株式会社
7. 施工者 大成建設株式会社
8. 施設建設費 約100億円(税込)
9. 竣工 平成31年1月(予定)

